

DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド
愛称:クラシックエイト

追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート
2012年5月

当資料は10枚ものです。P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。
なお、別紙1も併せてご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会： 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

各マザーファンド への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

国内債券アクティブ・マザーファンド、高金利ソブリン・マザーファンド、DIAM日本好配当株オープン・マザーファンド、DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド、J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド、DIAM US・リート・オープン・マザーファンド、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド、DIAM新興国債券マザーファンド、DIAM BRICs株式マザーファンド

世界の魅力的な8つの資産へ分散投資を行います。

毎月決算を行い、原則として利子配当等収益を中心に分配を行うことをめざします。

・毎月8日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として利子配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。

・四半期毎(1月、4月、7月、10月)の決算時には、原則として利子配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配をめざします。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- | | |
|------------------|--|
| 資産配分リスク | 当ファンドの実質資産配分において、収益率の悪い資産への配分比率が大きい場合、基準価額が下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 株価変動リスク | 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 金利リスク | 一般的に金利が上昇すると債券、リートの価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券、リートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| リートの価格変動リスク..... | 実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| カントリーリスク | 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 為替リスク | 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 信用リスク | 実質的に投資する株式、債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、実質的に投資対象とするリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 流動性リスク | 当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場に投資した場合、また、実質的に投資したリートによっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

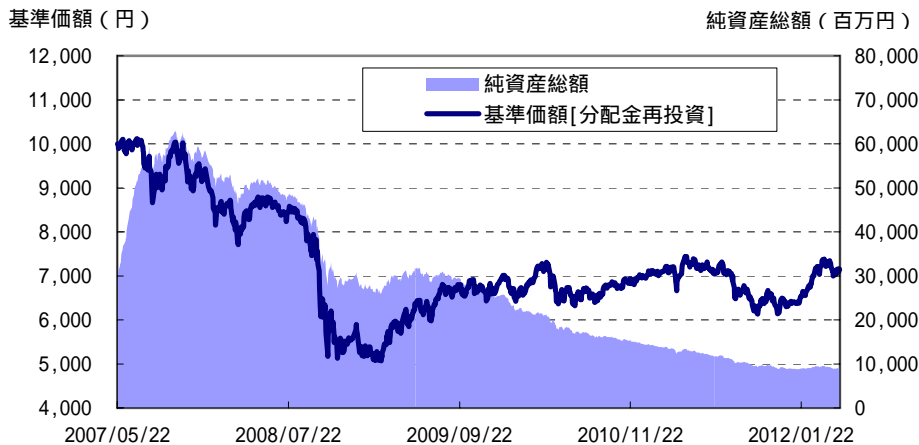
費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は10枚ものです。

P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称: クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み) 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 (設定日: 2007年5月23日)

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	5,782 円
解約価額	5,765 円
純資産総額	8,960 百万円
設定日	2007年5月23日
決算日	毎月8日
(休日の場合は翌営業日)	

分配金情報 (税引前)

直近3年分

日付	基準価額	分配金	日付	基準価額	分配金	日付	基準価額	分配金	
第24期 2009/05/08	5,653 円	25 円	第36期 2010/05/10	5,982 円	20 円	第48期 2011/05/09	6,073 円	20 円	
第25期 2009/06/08	5,873 円	25 円	第37期 2010/06/08	5,643 円	20 円	第49期 2011/06/08	6,021 円	20 円	
第26期 2009/07/08	5,577 円	20 円	第38期 2010/07/08	5,654 円	20 円	第50期 2011/07/08	6,134 円	20 円	
第27期 2009/08/10	6,168 円	20 円	第39期 2010/08/09	5,784 円	20 円	第51期 2011/08/08	5,627 円	20 円	
第28期 2009/09/08	6,025 円	20 円	第40期 2010/09/08	5,648 円	20 円	第52期 2011/09/08	5,581 円	20 円	
第29期 2009/10/08	5,952 円	20 円	第41期 2010/10/08	5,882 円	20 円	第53期 2011/10/11	5,273 円	20 円	
第30期 2009/11/09	5,986 円	20 円	第42期 2010/11/08	5,966 円	20 円	第54期 2011/11/08	5,433 円	20 円	
第31期 2009/12/08	6,008 円	20 円	第43期 2010/12/08	5,964 円	20 円	第55期 2011/12/08	5,338 円	20 円	
第32期 2010/01/08	6,248 円	20 円	第44期 2011/01/11	6,014 円	20 円	第56期 2012/01/10	5,225 円	20 円	
第33期 2010/02/08	5,729 円	20 円	第45期 2011/02/08	6,048 円	20 円	第57期 2012/02/08	5,507 円	20 円	
第34期 2010/03/08	6,008 円	20 円	第46期 2011/03/08	6,085 円	20 円	第58期 2012/03/08	5,791 円	20 円	
第35期 2010/04/08	6,316 円	20 円	第47期 2011/04/08	6,280 円	20 円	第59期 2012/04/09	5,766 円	20 円	
						分配金累計		-	1,350 円

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 基準価額は税引前分配金込み
- 3 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 4 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-1.32%	8.82%	7.14%	-3.27%	-1.57%	21.62%

- 1 当ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものと計算しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

当資料は10枚ものです。
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
 追加型投信 / 内外 / 資産複合
 月次運用レポート (2012年5月)

地域別構成比率

地域		比率 (%)	
国内		22.1	22.1
海外	先進国	12.9	72.5
	北米	17.8	
	欧州	12.7	
	アジア・オセアニア他	29.1	29.1
新興国		29.1	29.1
合計		94.6	

比率は純資産総額に対する割合です。

通貨別構成比率

通貨		比率 (%)	
国内		22.1	22.1
海外	米ドル	16.9	72.5
	ユーロ	5.9	
	新興国通貨	24.1	
	その他	25.6	
合計		94.6	

比率は純資産総額に対する割合です。

基準価額の騰落要因

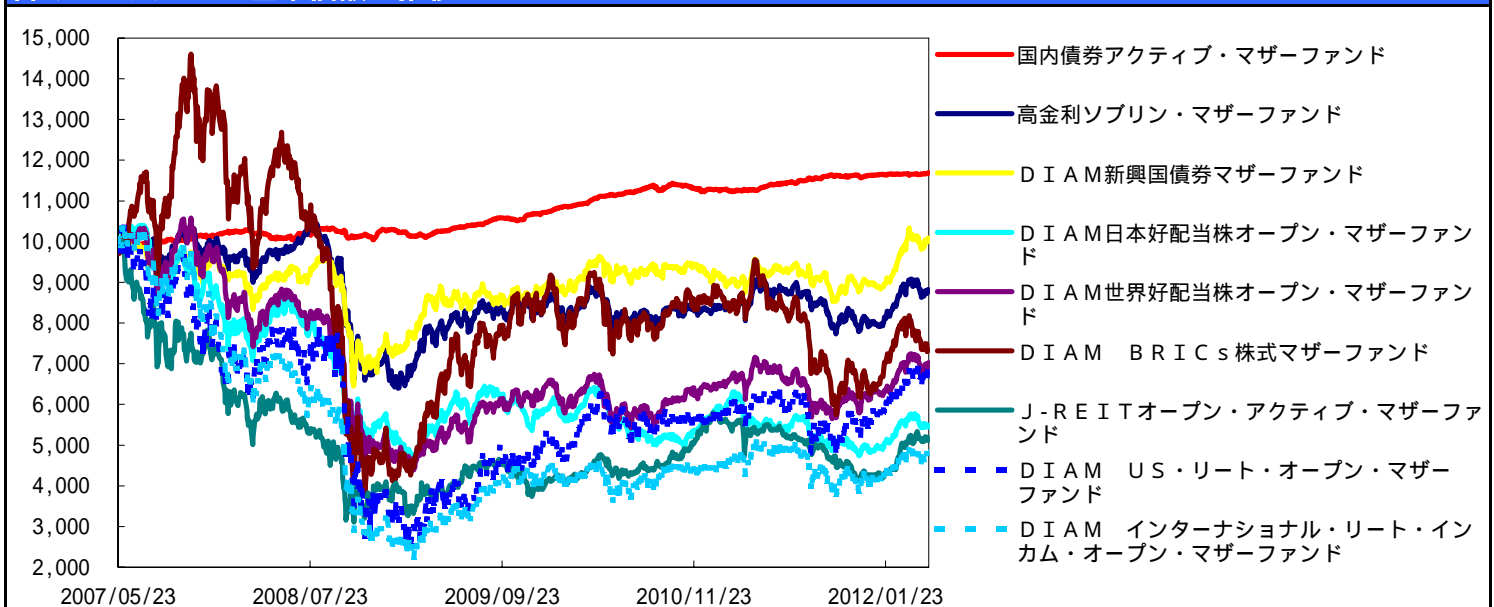
対象期間 (2012/3/31 ~ 2012/4/27)	
国内債券 (国内債券アクティブ・マザーファンド)	0 円
外国債券 (高金利ソブリン・マザーファンド)	-29 円
内為替要因	-39 円
新興国債券 (DIAM新興国債券マザーファンド)	-2 円
内為替要因	-7 円
国内株式 (DIAM日本好配当株オープン・マザーファンド)	-26 円
外国株式 (DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド)	-7 円
内為替要因	-8 円
新興国株式 (DIAM BRICs株式マザーファンド)	-12 円
内為替要因	-8 円
国内不動産 (J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド)	-10 円
外国不動産 (DIAM US・リート・オープン・マザーファンド)	4 円
内為替要因	-3 円
外国不動産 (DIAMインターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド)	9 円
内為替要因	-5 円
小計	-73 円
信託報酬等	-5 円
分配金	-20 円
合計	-98 円

マザーファンド別組入比率と月次騰落率

資産	基本配分比率 (%)	比率 (%)	騰落率 (%)		
			1カ月	設定日	
債券	国内債券	5.0	4.1	0.2	16.9
	外国債券	35.0	34.4	-1.4	-12.1
	新興国債券	5.0	6.3	-0.4	0.2
株式	国内株式	10.0	9.4	-4.6	-45.6
	外国株式	15.0	14.4	-0.8	-29.8
	新興国株式	5.0	6.9	-2.8	-26.5
不動産	国内不動産	10.0	9.8	-1.7	-48.4
	外国不動産 (米国)	15.0	5.1	1.3	-31.4
	外国不動産 (米国以外)		8.3	1.9	-51.6
現金等		-	1.3		
合計			100.0		

設定日の騰落率はDIAMグローバル・アクティブ・バランスファンドの設定日 (2007年5月23日) と比較しています。

各マザーファンドの基準価額の推移



基準価額はDIAMグローバル・アクティブ・バランスファンドの設定日 (2007年5月23日) を10,000として指数化しています。

当資料は10枚ものです。
 P.10の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

【国内債券】 国内債券アクティブ・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

現物組入比率	96.7 %
先物組入比率	28.0 %
組入銘柄数	20

債券種別組入比率

国債	48.12%
地方債	0.00%
社債	51.88%
その他	0.00%

債券ポートフォリオの状況 1

平均直接利回り	1.26%
平均複利利回り	1.06%
平均クーポン	1.30%
平均残存期間	8.39
修正デュレーション	7.39

格付別組入比率 2

A A A	48.12%
A A	12.33%
A	39.55%
B B B 以下	0.00%

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	0.19%	0.29%	0.96%	3.03%	5.23%	14.20%

【外国債券】 高金利ソブリン・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

組入比率	96.7 %
組入銘柄数	21

債券種別組入比率

国債・政府機関債	100.00%
その他	0.00%

通貨別組入比率

メキシコ・ペソ	13.60%
ノルウェー・クローネ	6.78%
ユーロ	8.53%
ポーランド・ズロチ	9.71%
チェコ・コルナ	6.46%
オーストラリア・ドル	10.33%
ニュージーランド・ドル	11.23%
マレーシア・リンギット	10.12%
タイ・バーツ	9.94%
南アフリカ・ランド	13.31%

ポートフォリオの状況 1

平均直接利回り	5.50%
平均複利利回り	3.73%
平均クーポン	6.01%
平均残存期間	4.03
修正デュレーション	3.51

格付別組入比率 3

A A A	36.87%
A A	6.46%
A	46.73%
B B B 以下	9.94%

格付は個別銘柄格付を表示しています。

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-1.45%	7.18%	5.17%	-2.56%	-0.75%	14.07%

【新興国債券】 DIAM新興国債券・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

組入比率	96.5 %
組入銘柄数	11

債券種別組入比率

国債・政府機関債	100.00%
その他	0.00%

格付別組入比率 3

A A A	20.96%
A A	0.00%
A	5.10%
B B B 以下	73.94%

ポートフォリオの状況 1

平均直接利回り	6.47%
平均複利利回り	4.43%
平均クーポン	8.18%
平均残存期間	12.67
修正デュレーション	7.61

組入上位5ヵ国

1	ブラジル	25.97%
2	トルコ	24.99%
3	ロシア	21.01%
4	南アフリカ	5.10%
5	メキシコ	1.97%

国際機関は除く

通貨別組入比率

米ドル	77.41%
ユーロ	0.00%
エマージング通貨	22.59%
その他	0.00%

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-0.43%	10.38%	10.14%	7.65%	4.21%	18.12%

1 各マザーファンドの純資産総額に対する割合、その他の各組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

2 国内債券の格付については、国内格付機関(R&IおよびJCR)による上位のものを採用し、+・-等の符号は省略して表示しています。

3 外国債券の格付については、海外格付機関(S&PおよびMoody's)による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

当資料は10枚ものです。

P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称: クラシックエイト
 追加型投信 / 内外 / 資産複合
 月次運用レポート (2012年5月)

【国内株式】DIAM日本好配当株オープン・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

現物組入比率	93.2 %
先物組入比率	0.0 %
組入銘柄数	86

組入上位5業種

1 電気機器	14.99%
2 銀行業	11.17%
3 情報・通信業	8.72%
4 卸売業	8.65%
5 輸送用機器	8.52%

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-4.64%	7.66%	6.42%	-2.18%	-14.49%	0.80%

組入上位10銘柄

No	銘柄	業種	比率(%)
1	アステラス製薬	医薬品	4.12
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.67
3	日産自動車	輸送用機器	3.60
4	武田薬品	医薬品	3.14
5	三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.92
6	みずほフィナンシャルG	銀行業	2.66
7	太平洋セメント	ガラス・土石製品	2.57
8	キヤノン	電気機器	2.56
9	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	2.47
10	光通信	情報・通信業	2.42

【外国株式】DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

組入比率	95.3 %
組入銘柄数	121

組入上位5業種

1 エネルギー	13.65%
2 食品・飲料・タバコ	13.09%
3 銀行	12.37%
4 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.41%
5 公益事業	8.76%

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-0.83%	11.31%	10.25%	-0.51%	6.44%	39.47%

組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	フィリップモリスインターナショナル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.52
2	ロイヤル・ダッチ・シェル	イギリス	エネルギー	2.17
3	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.83
4	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.77
5	グラクソ・スミスクライン	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.65
6	ボーダフォン・グループ	イギリス	電気通信サービス	1.60
7	ノバルティス	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.47
8	ネスレ	スイス	食品・飲料・タバコ	1.44
9	トタル	フランス	エネルギー	1.36
10	BASF	ドイツ	素材	1.09

【新興国株式】DIAM BRICs株式マザーファンド

ポートフォリオ構成 1

組入比率	98.1 %
組入銘柄数	66

組入上位5カ国

1 ブラジル	31.89%
2 中国	25.14%
3 インド	17.96%
4 ロシア	12.30%
5 香港	7.56%

組入上位5業種

1 銀行	23.56%
2 エネルギー	23.55%
3 素材	11.05%
4 公益事業	6.48%
5 食品・飲料・タバコ	6.20%

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-2.82%	4.09%	3.70%	-18.84%	-17.84%	23.73%

組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	ガスプロム	ロシア	エネルギー	5.01
2	コンパニア・デ・サネアメント・バシコ・ド・エスタド・デ・サンパウロ	ブラジル	公益事業	4.18
3	中国銀行	中国	銀行	4.05
4	中国移动	香港	電気通信サービス	3.70
5	中国建設銀行	中国	銀行	3.67
6	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	インド	家庭用品・パーソナル用品	3.54
7	中国工商銀行	中国	銀行	3.27
8	スベルバンク	ロシア	銀行	3.24
9	ルクオイル	ロシア	エネルギー	3.07
10	バンコ・イタウ・ホールディング・フィナンセイラ	ブラジル	銀行	3.06

1は各マザーファンドの純資産総額に対する割合、その他の各組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

当資料は10枚ものです。
 P.10の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称: クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

【国内リート】 J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1 組入上位10銘柄

組入比率	95.7 %	No	銘柄	比率(%)
組入銘柄数	28	1	日本ビルファンド投資法人	12.02
		2	大和証券オフィス投資法人	7.35
		3	日本リテールファンド投資法人	7.30
		4	プレミア投資法人	6.57
		5	ジャパンリアルエステイト投資法人	6.35
		6	ケネディクス不動産投資法人	5.92
		7	グローバル・ワン不動産投資法人	5.87
		8	平和不動産リート投資法人	5.15
		9	野村不動産オフィスファンド投資法人	3.98
		10	日本プライムリアルティ投資法人	3.86

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	-1.72%	17.80%	13.04%	-5.67%	8.33%	35.71%

【外国リート】 DIAM US・リート・オープン・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1 組入上位10銘柄

組入比率	92.2 %	No	銘柄	国名	比率(%)
組入銘柄数	32	1	サイモン・プロパティ・グループ	アメリカ	6.69
		2	ザ・メイスリッチ・カンパニー	アメリカ	5.98
		3	DCTインダストリアル・トラスト	アメリカ	5.79
		4	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	5.42
		5	エンターテインメント・プロパティーズ・トラスト	アメリカ	5.36
		6	ベントス	アメリカ	5.25
		7	アメリカンキャンパス・コミュニティーズ	アメリカ	4.41
		8	エセックス・プロパティ・トラスト	アメリカ	4.19
		9	リパティ・プロパティ・トラスト	アメリカ	3.94
		10	デジタル・リアルティ・トラスト	アメリカ	3.86

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	1.35%	13.66%	18.57%	9.74%	9.63%	76.97%

【外国リート】 DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

ポートフォリオ構成 1 組入上位10銘柄

組入比率	95.5 %	No	銘柄	国名	比率(%)
組入銘柄数	55	1	CFSリテール・プロパティ・トラスト	オーストラリア	7.69
		2	ユニバイル・ロダムコ	フランス	7.14
		3	ミルバック・グループ	オーストラリア	6.82
		4	インベスタ・オフィス・ファンド	オーストラリア	5.09
		5	メーブルツリー・ロジスティクス・トラスト	シンガポール	3.84
		6	ストックランド	オーストラリア	3.61
		7	アセンダス・リアルエステイト・インベストメント・トラスト	シンガポール	3.58
		8	チャーター・ホール・リテール	オーストラリア	3.46
		9	アライド・プロパティーズ	カナダ	3.17
		10	ブリティッシュ・ランド・カンパニー	イギリス	2.95

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
当ファンド	1.88%	11.46%	8.04%	-3.75%	8.57%	60.70%

1は各マザーファンドの純資産総額に対する割合、その他の各組入比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

当資料は10枚ものです。
P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンドの運用状況

【国内債券】国内債券市場の国債利回りは低下しました(価格は上昇)。欧州債務問題や米国の金利低下、国内株式市場の軟調な推移、日銀による追加金融緩和への期待等を背景に、月を通して国債利回りは低下する展開となり、月末には10年国債利回りで0.9%を割り込む水準まで低下しました。

【外国債券】米国やドイツの国債利回りは低下しました(価格は上昇)。米国の雇用統計の下振れやスペインの財政懸念の高まり等を背景に、「質への逃避」の動きから米国やドイツの国債利回りは低下する展開となりました。一方、スペインやイタリアなどの高債務国は、財政懸念の高まり等を背景に国債利回りは上昇しました。

【新興国債券】新興国債券の利回りは、前月末と比較して小幅に低下(価格は上昇)しました。対米国債スプレッドは、欧州債務問題の再燃や中国など新興国での景気後退懸念が嫌気され、小幅に拡大しました。

【国内株式】国内株式市場は下落しました。米国の景気減速懸念やスペインの財政懸念の高まりに加え、為替市場での円高進行が嫌気されて月初から下落する展開となりました。中旬以降は、米国株式市場の下げ止まりや円高の一方が好感された一方で、中国や欧州の景気減速が懸念され一進一退の展開となりました。月末には、日銀が追加金融緩和の実施を発表したものの、事前に期待が高まっていたこともあり、下落して月の取引を終えました。

【外国株式】外国株式市場は下落しました。上旬は、FRB(米連邦準備理事会)による追加金融緩和への期待後退や、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことに加え、スペインの財政懸念の高まり等が嫌気されて下落する展開となりました。中旬以降は、欧州債務問題が引き続き警戒されたものの、米国主要企業の決算発表が概ね良好だったことや、バーナンキFRB議長が追加緩和の可能性を示唆したことなどを背景に上昇基調で推移しました。

【新興国株式】新興国株式市場は、欧州債務問題と米国の景況感への先行き懸念から上値の重い展開となりました。上海や香港の株式市場が金融緩和期待から堅調な展開となった一方で、キャピタルゲイン課税導入への不安から台湾株式市場が下落するなど各国で異なる展開となりました。

【国内リート】国内リート市場は、欧州債務問題や国内株式市場の軟調な推移等を背景に下落したものの、日銀によるJ-REITの買い入れ等により国内株式市場に比べて月間の下落幅は限定的となりました。また、月末の日銀の追加金融緩和の発表で、J-REITの買い入れ上限額が100億円増額されたことも好感されました。

【外国リート】外国リート市場は、月前半は米国の雇用統計の下振れや欧州債務問題等を背景に下落したものの、月後半は中国や米国における金融緩和期待の高まりや、低金利の環境が好感されたこと等を受けて上昇に転じ、月間では外国株式市場を上回る結果となりました。

【為替市場】ドル/円相場は円高ドル安となりました。米国の雇用統計の下振れや米国金利の低下、欧州債務問題の高まり等を背景に月初から円高ドル安の展開となりました。月末には、日銀が追加金融緩和を決定したものの、事前に期待が高まっていたことの反動もあって海外市場では円高が進みました。ユーロ/円は、スペインの財政懸念の高まり等を背景に円高ユーロ安が進みました。

このような状況下、当ファンドの基準価額は前月末比で1.32%下落しました。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。

DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、オーストラリア証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドンの銀行の休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2007年5月23日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月8日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に2.625%(税抜2.5%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率1.26%(税抜1.2%)を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。) なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

当資料は10枚ものです。

P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



DIAMグローバル・アクティブ・バランスファンド 愛称：クラシックエイト
追加型投信 / 内外 / 資産複合
月次運用レポート (2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みの際は、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に株式、債券、不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > デービス・セレクテッド・アドバイザーズ
 コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント
 DIAM International Ltd DIAM U.S.A., Inc.

委託会社の照会先

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860
(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社 (お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号					1

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

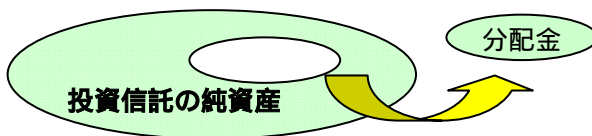
- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は10枚ものです。

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

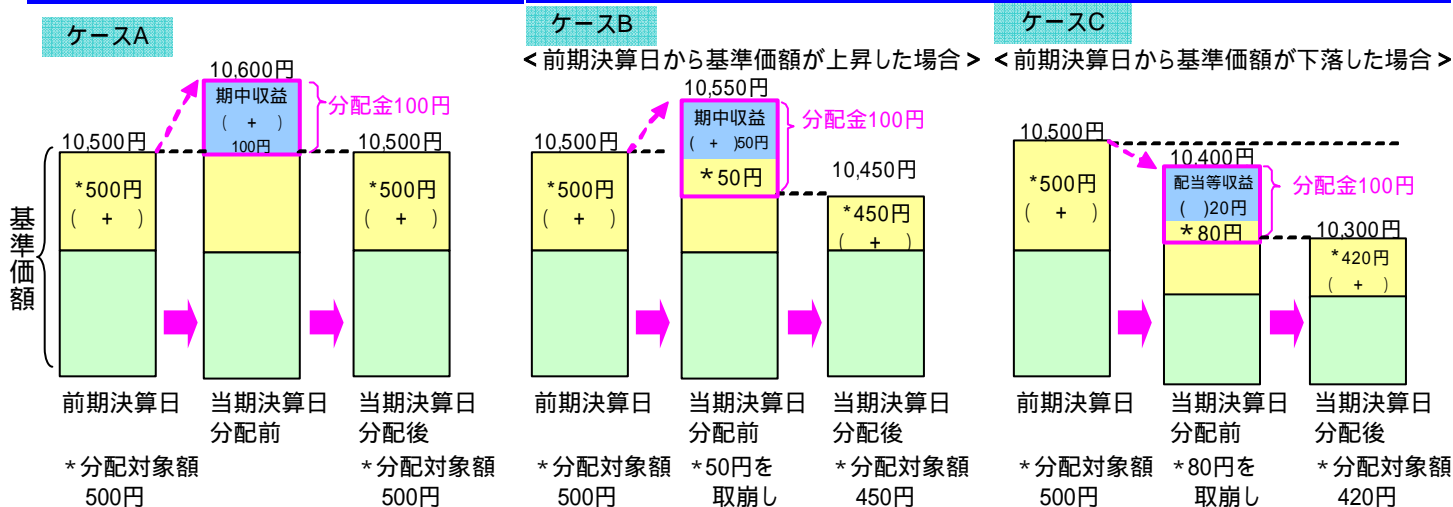
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

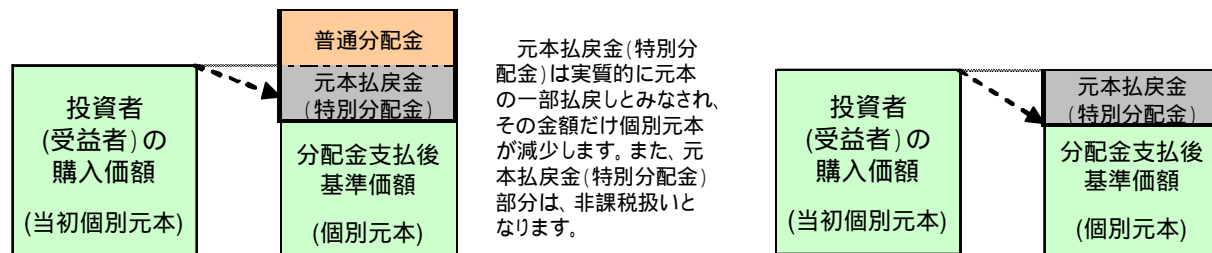
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金

: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)

: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。